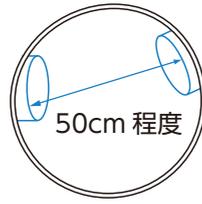


5 部分一体型補修（光硬化）… φ600人孔からの施工

状況 φ600 人孔より光硬化一体型(250-150)の施工
 本管更生後は、耐震対策のため、更生材を5cm以上残すこと
 になっているため、人孔内の有効幅は、45~50cmとなっており、
 通常の光施工機(長さ90cm)では施工が出来なかった。



φ600人孔

対策 一体型施工機の改良
 回転ユニット部分はワンタッチで取り外し可能。
補修幅は30cmの特殊一体型施工機で施工が可能。



施工例



① 補修材巻きつけ状況



② 補修材 張り幅30cm



③ 挿入状況



④ 回転ユニットを外す



⑤ 施工機本体部分を挿入後、
回転ユニットを接続



⑥ 挿入完了
あとは通常の施工と同様です

6 部分一体型補修（光硬化） φ250 取付ライニング+400-250 光硬化一体

状況 光硬化取付管ライニングφ250の施工後に、
 一体型施工を行なう。
 φ250の取付管となると機材や施工機ゴム等の
 問題上、本管管径が400以上でなければ施工できません
 ので、機材の関係上、400-250、450-250、500-250、
 600-250のラインアップが追加となります。
 各口径とも、ゴムの作成は受注生産となります。納期等、
 事前にメーカーまでお問い合わせください。

対策 施工例



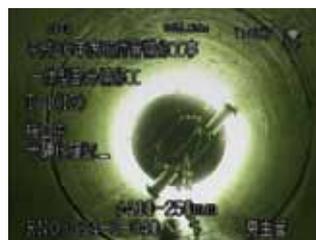
φ250 取付管ライニング施工



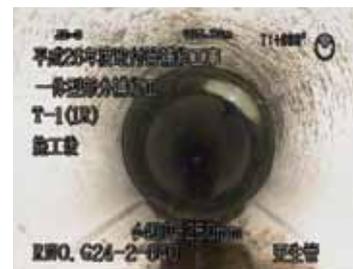
ライニング材切削工



施工前



施工中



400-250 光硬化一体型施工後